

くろぎび通信 夏号

2015年7月2日発行

Drヒロのひとりごと

この間、「あん」って映画を見てきました。樹木希林さんがどら焼きを作る映画で、主人公の一年を追った、四季の映像がとてもきれいな映画です。主人公は、幼い時にハンセン病に冒され、家族と引き離され、自分の子どもも中絶させられ、人生の大半を施設の中に隔離されて暮らします。後遺症をもって、人生の最後にやっと、未だに差別のある世間に出ることを許されます。そして自由に楽しく、たった半年ですが、どら焼きを作ります。作者は、この主人公に、人が生まれてきた意味は、「この世を観るため、聞くためだ」と言わせませす。人は、どんな人でも、たとえ人の役に立たなくても、生まれてくる意味はある。その子なりの感じ方で、空や風や言葉を捕らえるために、人は

生まれる。その子が感じた世界は、そこに生まれる、と。

僕は今まで、人の役に立たなければ、自分の人生の意味はないと勘違いしていました。この映画を見て、随分泣きましたが、気持ちがとても楽になりました。お時間があれば観てください。

久保みずきレディースクリニック

菅原記念診療所 理事長 久保寛倫

妊娠セミナーを終えて

6月6日の「妊娠セミナー」にお越しの皆様、ご参加誠にありがとうございました。少しでも多くの方に「妊娠」についての正確な情報を発信し、考える場を提供したく思い開催いたしました。

セミナー後に皆様よりいただいたご意見をもとに、もっとわかりやすく、各々の必要性に応じた情報発信の場を提供していけたらよいと思いました。次回の開催は未定ではございますが、「こんなことが知りたい」等のご要望がございましたら、ぜひスタッフまでお声かけください。

人間は考える葦である。知らなかったことを知ることにより、考えなかったことを考えることにより、何かが少しずつ良いように変わっていくくれると思います。

今回ご参加くださいました方はもちろん、この記事を読んでくださっている皆様のもとへ良い結果が来ることを願っております。

妊娠セミナー担当・胚培養士 堀部晃央



新人スタッフ紹介

尊い生命のために



命の誕生は奇跡であり、生命は尊いという事を、子ども二人を授かり実感致しました。当時の感動と感謝の気持ちは、今でも覚えています。二人の命は、様々な方のお力添えによって生かされ、元気に成長しています。

この頃から、母子に携わる看護ができることを望んでいました。その後、学生の頃に、久保みずきレディースクリニクに実習で見学させて頂いた時、高い専門治療であることに感銘を受け、また、スタッフの方々の温かい笑顔での接遇対応が、素晴らしかったことを覚えていきます。現在、こちらで勤務させて頂いていることに心から感謝しております。

患者様は、不妊治療に対して大きな期待と生命誕生の喜び、また難しい選択や自責の念等、多種多様な思いで来院されていると感じました。おこがましいですが、かつての私自身の思いと少し重なることがあります。先生方をはじめスタッフの方々がチーム一丸となり、患者様お一人一人の思いに耳を傾けより良い治療や対応がなされている姿は、いつも心に響くものがあります。

産科や外来勤務に経験がなく、戸惑うことが多く、先生方やスタッフの方々に、丁寧な指導して頂き助けて頂くばかりです。日々自分を評価し更に勉強し、次への目標に向けて頑張っていく予定です。まだまだ未熟ではありますが、感謝の気持ちを忘れず、いつまでも向上心を持ち、知識や技術を深め、チームの一員として、患者様に寄り添える温かい対応ができるよう頑張ります。

どうぞよろしくお願い致します。

看護師 林昭美



はじめまして



3月より婦人科の受付に入職致しました、伊藤真由です。医療という現場も、受付という仕事も初めてで、まだまだ仕事を覚えるのに精一杯ですが、今は少しずつ慣れてきたところです。焦らず、ゆつくりと、丁寧な対応が出るよう、笑顔忘れずに頑張りたいと思っております。

私自身、出産で婦人科・産科にお世話になった経験はありますが、仕事をさせていただく中で、女性の身体について初めて知ることも多く、大変勉強になります。これからもっと知識を増やし、患者様への対応に役立てていき

たいと思います。

まだまだ至らないところもありますが、ご来院される患者様に、一番初めにご挨拶とお話をさせて頂いたたく者として、気持ちよく診察を受けて頂けるように、少しでも不安を和らげられるように、温かい対応を心掛けていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

受付 伊藤真由

新スタッフ

菅原記念診療所

米田一恵さん(ドライバー)

林照美さん(看護師)

伊藤真由さん(受付)

藤本真里奈さん(臨床検査技師)

宮崎薫さん(臨床検査技師)

吉岡恵梨さん(助産師)

藤谷美和さん(保育士)

ひなた助産院

森島有香さん(助産師)

泉レディース

岡田由美子さん(受付)

香山綾子さん(看護師)

女性・検診クリニック

今田美穂さん(看護師)

よろしくお願ひします！



臨床検査技師による 妊婦健診始めました



よろしく

お願いいたします

当院では4月末より、2階の超音波検査室（鍼灸ルームを兼ねる）に新しく入りました超音波の機械を使って、臨床検査技師が妊婦健診の一部の胎児超音波検査を担当させていただきます。

臨床検査技師とは…？

病院などの医療機関において種々の臨床検査を行う技術者のこと。

臨床検査は、大きく「検体検査」と「生理機能検査」の2つに分かれます。

検体検査：人体から採取または、排泄されたもの（血液、尿、糞便、組織、細胞など）を用いて目的に合わせた検査をする。

生理機能検査：心電図検査、呼吸機能検査、眼底・眼圧検査、聴力検査、超音波（エコー）検査、脳波検査などの検査をする。

その他、検査のための採血、病理解剖の補助、治験コーディネーターなどの業務がきます。



臨床検査技師はどこに就職するか、どの部署になるかで仕事内容が異なり、それぞれの専門的な認定資格を取得することも出来ません。私は、超音波検査士という認定資格の取得を目指しています。この資格を取得するために、日々勉強し、少しでも患者様のお役に立てたらと思っています。

赤ちゃんの頭の大きさ（BPD）、お腹まわり（AC）、太ももの長さ（FL）を計測し、推定体重を出しています。助産師外来でもされている3D/4Dの機能もありますので、赤ちゃんの体勢や向きによって見えないこともあります。立体的なお顔も見たいと思います。できる限り、わかりやすい画像を出せるよう努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

臨床検査技師 藤本真里奈

新しく臨床検査技師として胎児超音波をさせて頂いております。社会人としても臨床検査技師としても新人で至らないこともあります。周りの方に助けて頂きながら頑張っています。

出産を控えている患者様は、様々な不安を抱えていらっしゃると思います。超音波検査で、そんな患者様の不安を少しでも和らげ、楽しい気持ちになっていただけるように、「患者様を笑顔にする」ということを目標にしています。その為に、臨床検査技師として、あらゆる知識と目を養いつつ、患者様に安心していただけるような健診を出来るように、日々精進してまいりますので、よろしくお願致します。

臨床検査技師 宮崎薫



培養室の窓へ受精の話

今回は、受精についてのお話です。

受精とは、精子と卵子が出会うことを言います。体内と体外では、受精の過程が異なっています。

体内では、性交によって射出された精子が、膣から子宮、卵管へと移動し、さらに卵管膨大部というところで、卵巣から排卵された卵子と出会い、受精が成立します。排卵する時に精子が卵子を待ち構えている状態が妊娠しやすいといわれています。その為、排卵する少し前に性交をしていると妊娠する可能性が高くなります。

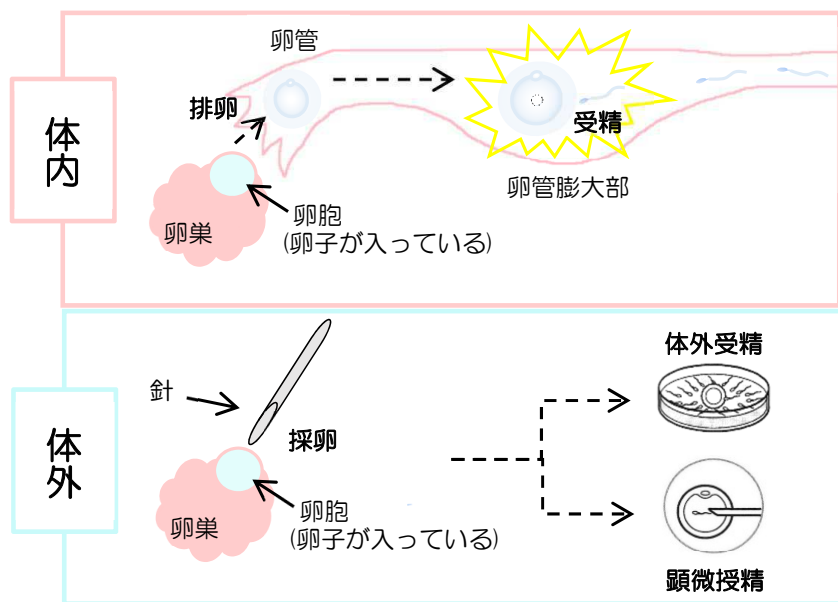
体外では、受精をさせるために、卵子を体外に取り出します。また、射出された精子を培養液で洗浄し、元気な精子を集めます。この精子と精子を用いて、体外受精もしくは顕微授精のどちらかの方法で受精をさせます。

体外受精は、卵子と精子を一緒に培養して受精させる方法です。体外受精でうまく受精しなかったり、精子の数が少なかったりする場合などは、顕微授精を行います。顕微授精は、1つの卵子の中に1つの精子を針で注入し、受精の手助けをする方法です。

受精した後、卵子と精子は受精卵(胚)になります。受精卵になって、細胞分裂を繰り返し、

妊娠する能力のある胚が育っていき、生命になるのです。

胚培養士 今井碧



他ご紹介



今回は...

アメニティの吉田洋子さんです!

★明るく元気!

明るく笑顔が素敵な吉田さん。いつも若々しくて元気です!通勤中に自転車をすごい速さで漕いでいるところをスタッフに何度か目撃されています(笑)。

★とても気さく!

とても話しやすく、優しく声をかけてくれます。人懐っこい方なので、誰とでもすぐに打ち解け、分け隔てなく接してくれます。とても親しみやすく、優しい人です!

★お酒大好き!

お酒(特にビール)が大好きで、お酒に合う料理を作るのも上手です!お酒に強いけど、酔うととてもテンションが高くなります。

★みんなの知らない吉田さん

実はかなりの頑張り屋さん。自分がやると決めたら、ひたむきに頑張る姿は尊敬します!

★吉田さんに一言

これからも吉田さんパワー全開で、明るく笑顔でいてくださいね❀